

半田市一般・市制89周年記念式典 式辞

半田市は、昭和12年10月1日に愛知県下6番目の市として誕生し、先日、10月1日に市制89周年を迎えることができました。これもひとえに、先人たちのたゆまぬ努力と、これまで半田のまちを支え、育て、築いてこられた市民の皆様お一人おひとりの歩みの積み重ねによるものであり、心より感謝を申し上げます。

本日表示を受けられる皆様は、様々な分野において、長きに渡り半田市の発展にご尽力いただいている方々です。改めまして、市を代表し、深く感謝を申し上げますとともに、これからもそれぞれの活動や日々の暮らしを通じて、半田のまちを支えていただきますことをお願い申し上げます。

さて、全国的な人口減少やライフスタイルの多様化、社会を取り巻く環境の急速な変化などにより、今、多くの自治体に、これまでの仕組みや発想を見直し、新たな時代に対応していく「変革」が求められています。半田市は、古くから知多地域の商業の中心として栄えてきた歴史や、地域に根付いた山車文化をはじめ、地域のつながりや人の力が息づく、地域力の強いまちであると認識しています。一方で、こうした強みがあるからこそ、これまでのやり方をそのまま続けるのではなく、時代に合わせて変えるべきものは変え、守るべきものはしっかりと守りながら、新しい半田をつくっていくことが大切だと考えています。例えば、地域のつながりをこれからも持続させていくための小学校区コミュニティの構築や、まちの新たなにぎわいと人の流れを生み出す中心市街地の活性化など、これまでの仕組みやまちのあり方を見直し、次の時代につなげていく取組を進めています。こうした一つひとつの変化を積み重ね、その先に、これからの半田が目指すべき未来を描いていきたいと考えています。

自治体の責務は、「住民の福祉」を実現すること、すなわち、市民の皆様に幸せを感じて暮らしていただくことです。さまざまな立場や状況にある市民が、まちに受け入れられていると感じられ、誰もが自分らしく生きられ、幸せを実感ができるまち。それが、私が目指す「半田市」の姿であります。

89年間にわたり、市民の皆様とともに築いてきた半田の歴史と地域力を大切にしながら、変えるべきところは果敢に変え、これからの時代にふさわしいまちを、皆様とともに創ってまいります。

そのためには、行政だけでなく、市民の皆様お一人おひとりの力が欠かせません。幸せを実感できる「選ばれるまち・半田市」を実現に向け、皆様と力を合わせ、より良い半田の未来を築いていきたいと考えております。

これからも、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。半田市制 89 周年記念式典にあたっての式辞とさせていただきます。

令和 8 年 10 月 7 日

半田市長 久世孝宏